

入野小学校 校長室だより

2015. 11. 6(金) No. 24 文責：芝

Tシャツ、おかえりなさい

4年生が「Tシャツが旅をした、ガーナのこと」という学習をしました。指導して下さったのはNPO砂浜美術館の西村さん。同じテーマの授業は、毎年4年生が受けています。



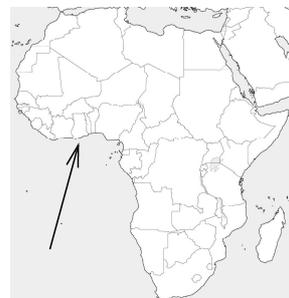
子どもたちは3年生の3学期にTシャツ用の絵を描きます。それをTシャツにプリントしてもらい、4年生になった年のTシャツアート展に出品します。(下の写真は砂浜美術館のHPにある写真をお借りしました。)

このイベントが終わって、子どもたちのTシャツは日本を離れて旅に出るのです。

昨年度までのTシャツはモンゴルに行き、モンゴルの大草原の風の中でヒラヒラしていたのですが、今年の4年生のTシャツは入野の浜からアフリカのガーナへ行き、ガーナの海岸の潮風の中でヒラヒラ踊った後で子どもたちのところに帰ってきたとのこと。



たぶん、子どもたちは「ガーナってどこ？」だったと思いますが、それは私も同じ。「ガーナ」という響きでチョコレートを思い浮かべることができますが、地図上の位置は「アフリカのどこか」しか浮かびません。下の図の位置にあるとのこと。日本から行くには、ずいぶん時間がかかりそうですね。



こんなに遠くまで旅したTシャツ

ですので、子どもたちは、

「汚したらいかん。」

というように、慎重に扱う様子が見られたとのこと。その気持ち、よく分かります。

授業の中で子どもたちは、「ガーナで、びっくり！」というコーナーで、ガーナの生活や文化についても学びました。項目だけになりますが一部をご紹介します。

- 重いものを運ぶときは？
- お風呂で使う水の量は…
- ガーナ料理について知ろう
- 色々な種類のチョコレートがある？
- ガーナに「よさこい」はある？

子どもたちは、実際にガーナのチョコレートを食べることができ、うれしかったことでしょうし、とても貴重な体験でしたね。

指導をしてくれた西村さんの思いには「私たちは世界とつながっている」ということを子どもたちに感じ取ってもらいたいということがあったと思います。

これから子どもたちは、大人たちが受けてきた教育とはかなり違ったことを学ぶはず。もうすぐ小学校でも英語が正式な教科になりますが「話せる・使える」ことが主眼になってきます。日本以外の世界に興味を広げ、世界の人たちとつながるために英語でコミュニケーションできるようになろう、そんな気持ちにつながってくれたらと思います。